



本田拓也選手・生地慶充選手の紹介



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号 **14** 本田拓也選手
MF 36歳

法政大学サッカー部3年生の時に清水エスパルスの強化指定選手として入団し、4年生の時に北京オリンピックの代表選手として出場したのは今から13年前のことで、当時はまだ海外チームとの戦いにあまり慣れていなかったことで、スピードの速さと身体能力の高さに驚かされました。その後、鹿島アントラーズに移籍して、今までで一番ハードな練習の毎日を経験し、自分自身の大きな成長に繋がったと思っています。

その後、再び清水エスパルス、モンテディオ山形を経て、今シーズンからFC岐阜に加入しました。

目下のFC岐阜はチーム内コミュニケーションは非常に良く、初戦から徐々に結果も良くなってきています。最近若手選手達からも良く話しかけられるので、うれしく思っています。練習メニューもハードになって来ているので、これから状況が厳しくなっても、チームはレベルアップしていくと確信しています。

ここ2回雨の日の試合であっても、球際に強く、ディフェンスも成長して失点数を少なく抑えられているのも良い点です。この調子で成長していけば今シーズンのJ3優勝は実現できると確信しています。

柏木選手の入団については、彼の技術的な上手さや試合経験の豊富さや厳しい試合体験など若手選手のお手本になることばかりであり大いに期待しているし、また一緒にプレーしてもっとチームに貢献したいと思っています。

岐阜は暮らしやすい街で食べ物も美味しくて、気に入っています。ホームタウン応援大使をしている白川郷の白川村や飛騨地方にも妻と二人で行ってみたいと思っています。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号 **25** 生地慶充選手
MF 23歳

2016年高校3年生の時にFC東京U-23チームの二種登録選手としてJ3リーグ戦に20試合出場しました。その後、筑波大学1年生の時に同チームの特別指定選手として7試合に出場し、2得点を挙げました。

今シーズンからFC岐阜に加入し、開幕戦でプロ選手デビューを果たすことができました。開幕戦でスタジアムに入る時に、バス待ちの大勢のサポーター達からの大きな歓声で迎えてもらったことは、大変嬉しく記憶に残っています。少し硬くなっていて、全力を出し切れなかったのが残念でしたが、素晴らしい先輩選手達からも声をかけられながら日々の練習の中で成長している自分を実感し、早く追いついて行きたいと思っています。先輩選手からは思い切つてやれと言われ、チームの勝ちに貢献できる選手になりたいと日々研鑽しています。

チーム内のコミュニケーションは非常に良く、仲間たちとは岐阜城に歩いて登るなど有意義な時間を過ごせています。岐阜は美味しいご飯さんがたくさんあり、食事も満足しています。

ニックネームは姓から「おいちゃん」で親しまれています。たくさんの出会いに恵まれて来たので「一期一会」を大事に、皆さんにいつも感謝の気持ちを忘れないようにしています。

今後、結果を出せる選手を目指して頑張っていきたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。